

# Sibelius 6

## マグネティックレイアウト機能

マグネティックレイアウトは、ユーザーが気付かないほど細部に渡るスコア・レイアウトをスムーズに調整します。この機能ひとつだけでも、大幅な時間の節約になります。これは、**20年**の譜面浄書史上、最も革新的な機能となるでしょう。譜面を作成する際、ダイナミクス、歌詞、シンボル、リハーサルマーク、その他のオブジェクトは、できるだけ読みやすいスコアになるよう、静かに移動します。オブジェクトは近くの列や行、他のオブジェクトを避けながら、ページ上のスペースを最大限に活用するように調整されます。その結果、いつも完璧な体裁のスコアが出来上がります。ダイナミクスは、音符やスラーなどを避けながら縦横に整列されます。歌詞は、低音の音符部分を避けながら、1列に整列されます。テンポ記号やコード記号、その他のオブジェクトも重複して表示されないように、うまく調整されます。複雑なスコア上で何かをドラッグすると、その他のオブジェクトがドラッグされた位置から移動します。オブジェクトが多すぎてオブジェクトが重複する場合がありますが、その部分は赤で表示されるため、すぐに問題箇所を見つけて修正することができます。しかし、それだけではありません。高度なユーザーは、複雑な譜面の作成時に、配置を固定したいオブジェクトの位置をフリーズすることができます。また、個々の音符やスコア全体に対してマグネティックレイアウト機能を完全にオフにすることができます。さらに、どのオブジェクトの配置を優先させるか、オブジェクトの周りの空白の量、どのオブジェクトを整列させるかなどを設定することもできます。

譜表も同様に秀逸な動作をします。**Sibelius**は低音や高音の音符、歌詞、テンポ記号、リハーサルマークなどを挿入できるように各**5線**の間のスペースを最適化します。各楽器グループの間にさらにスペースを追加して、大規模なスコアを読みやすくし、その他の譜表間のスペースを節約します。